

令和3年度 軽井沢高等学校 学校評議員による学校関係者評価

長野県軽井沢高等学校

学校教育目標

日本国憲法・教育基本法の本質にもとづき、教養を高め、知性を磨き、豊かな情操と創造性に富む人間形成をはかるとともに、広い視野と正しい判断のもとに行動する有為な社会形成者の育成をめざす。

中・長期的重点目標

- (1) 国際親善文化観光都市である、軽井沢ならではの地の利を活かした学びを推進し、地域に信頼され、地域に貢献できる学校を目指す。
- (2) 生徒の安心安全な学校生活を保障すると共に、主体的な活動を推進し、発信力・コミュニケーション力・協働性を有する人材を育成する。

令和3年度重点目標

- (1) 学習実態の調査・分析や授業改善を推進し、生徒の学習意欲向上を目指す。
- (2) 社会の一員としての責任感を養い、規律を持たせるための粘り強い指導を行う。
- (3) 生徒が深く考え、判断し、行動できるように主体的な活動を推進する。
- (4) 多様な考えを持つ人材と協働できるよう支援する。

対象	評価項目(活動目標)	学校評議員による評価
重点目標	〈中・長期的〉重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で各種制限がある中、できることできないことについて、子どもたちを巻き込んだ検討がなされ、一定の成果が出せたと思われる。 ・日本を代表する観光地にある学校でありながら、コロナ禍などの厳しい状況にも柔軟な対応を目標としており、先の見通しの悪い未来にも強く立ち向かえる人物を育てる志を感じた。 ・コロナ禍でいつも以上に困難があるかと思うが、「地の利を活かし、地域に信頼され、地域に貢献できる学校」を目指し、目標を達成できるよう学習指導、生徒指導をお願いしたい。
	今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のきめ細かい指導により、生徒会を中心とした活動が活発に行われたと思う。 ・これからも生徒の目線に立った指導を第一にお願いしたい。 ・目標に、生徒主導の行動目標が立てられているが、もう少し具体的な事例が挙げられているとよりわかりやすい。
進路学習指導	生徒の学習意欲向上を目指した授業改善意識調査を活用した教育活動の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動を軸にした教育活動と次年度からの単位制導入に対して、多くの中学生やその保護者、地域の意識が高まり、軽井沢高校に期待を寄せる人たちが多くなってきている。学校長を先頭により良い学校運営をお願いしたい。 ・学校自己評価にある改善策・向上策をもって評価が上がるように期待している。 ・課題から改善策まで、ストーリーが考えられており大変よい。学校自己評価はもっと高くてもよいと感じる。
	総合的な探究の時間の基礎づくり 生徒の学習課題の分析と個別最適支援	
生徒指導	安心安全な学校生活の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の収集に努め、早期に問題点を解決し、よりよい学校運営に努めてほしい。 ・生徒指導係を中心とした教職員全員の取組みにより本年度の問題行動発生件数は激減した。子どもたちもコロナ禍で自由な行動ができないためストレスも溜まってくると思われるので、次年度も今年度同様、適切丁寧な指導をお願いしたい。 ・氷点下の中でもごみ拾いをしながら生徒指導をしている教職員もいて感服。子どもたちを大切に思っていてくれると感じる。
	交通安全の徹底	
	自覚と責任ある行動の実現	
特別活動	クラブ活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動については、教職員の働き改革等により活動の制限が厳しくなっている。特にウィンタースポーツは危機的な状況になっている。軽井沢町でも部活動について、スポーツ協会等が中心になり推進会議を立ち上げる準備をしている。 ・高校時代のクラブ活動は大変将来に役立つもの。子どもたちには運動クラブ及び文化クラブどちらかには加入するよう制度化できないかについて検討してもらいたい。 ・部活動加入率が50%を切っていることが気になる。生徒会とも連携し、せめて50%以上がクラブ活動に参加してもらう取り組みをお願いしたい。特にアイスホッケー部の人数減少には危機感を感じている。 ・特別活動は学校生活を豊かにし、人生を形作る重要な活動だと思う。目標に対して「できなかった部分」が悪目立ちしがちだが、「できた部分」を肯定的に捉えても良いと思う。
	読書習慣の定着と授業連携	
	生徒会の主体的な運営	
人権平和	生徒の自己肯定感・人権感覚の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・人権については、SNSの普及と拡大にともない大きな問題になっている。引き続き、人権意識向上のための学習、取組みをお願いしたい。 ・非常にデリケートであり、簡単ではない問題である。一朝一夕で培えるものでもないため、継続的に取り組むことがよりよいと思う。
学校保健	心身の自主的健康管理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、学校への登校が制限され、友人と会う機会がなくなり一人で悩み、その後解除されても登校をしなくなった生徒への丁寧な支援をお願いしたい。また、コロナ禍により、生徒もストレスを感じていると思われるので、今後も引き続ききめ細かい心のケアを期待する。 ・クラスターが発生しないように基本的な予防を徹底していただきたい。 ・コロナウイルスの感染など、「命にかかわる勉強」がより一層身近に感じられた1年であったと思う。学校保健の取組みが、子どもたちにとって響く内容になっているとよい。
営繕美化	校地内外の環境美化の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺の人から、文化祭のイベントの中で「子どもたちがごみを拾ってくれた」という話を聞いた。引き続き嬉しい話を多く聞けるよう期待する。 ・日常的な整理整頓も含めて、継続的に実施できるとよりよい。
地域との連携	三者でつくる軽高会議の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・本校生は、他校に比べ地域との関わる機会が多く、大変素晴らしいことだと思う。その活動報告は「軽井沢高校だより」として発信され、多くの町民の方々に軽井沢高校をあたかく見ていただいている。また、多くの各報道機関により情報発信をしていただき、近況等を周知し高校の良さをアピールできている。引き続きの情報発信をお願いしたい。 ・これからのいろいろな媒体を利用して軽井沢高校をより理解してもらえようような情報発信をお願いしたい。また紙媒体だけでなく、InstagramなどのSNSを活用した活動情報発信により、町に密接した学校生活がとても身近に感じた。 ・「軽高会議」の取り組みはとても良い。会議の中で子どもたちが活発に意見を挙げているのを見て素晴らしい機会だと感じた。また、三者の意見が聞けるので、軽井沢高校をよりよくするためにこれからも継続して行ってほしい。
	私たちの住む地域について理解を深める	
	本校の教育活動についての情報の発信	
ビジョン	魅力ある学校の将来ビジョンの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方が、興味を抱いている普通科単位数制への移行。これからの学校の未来ビジョン構築について、学校一丸となり魅力ある学校を目指し、来年度も今年度以上の取り組みを期待する。これからの高校の新しい運営を軽井沢高校が先頭を切って実施できることは大変名誉なことである。何事も始めて実施することには戸惑いもあるが、軽井沢町をはじめ多くの人たちがバックアップしているので、子どもたちのためによりよくお願いしたい。 ・中学生だけでなく、その保護者に向けて、軽井沢高校が目指す将来像を発信できるとより良いと考える。入試に向けたリアルでの学校説明会だけでなく、オンライン見学や授業のアーカイブ視聴など、毎年更新する必要のない内容であれば限られた時間を有効活用できると思う。 ・職員研修、研究は負担にならない範囲で行われるのは賛成である。
働き方改革	教員業務の精選	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の長時間労働の一原因でもある部活動のありかたについては、軽井沢町の推進会議でも検討できたらよい。 ・部活動指導、生徒指導等あり超過勤務を容易に削減することは難しいと思うが、管理職が中心になり、少しでも定時に帰宅できるよう積極的な取り組みをしていただきたい。 ・数値ばかりを追うと本質的な改革はできない。時間外勤務を減らせたことは努力の賜物だと思う。 ・年休取得率が低すぎる。抜本的な解決策を望む。
	教職員の長時間労働の改善	